

令和3年度北海道開発局総合防災訓練の実施について

～日本海溝・千島海溝沿い巨大地震・津波を想定した総合防災訓練を実施～

北海道開発局では、大規模地震・津波を想定した「令和3年度北海道開発局総合防災訓練」を、下記のとおり実施しますのでお知らせします。

今回の訓練では、北斗市長のオンライン参加やドローン映像配信などの実動訓練も行います。

記

- 1 訓練想定： 北海道根室半島南東沖にM9クラスの巨大地震が発生（最大震度7）
- 2 訓練日時： 令和3年11月1日（月）13：30～16：00
- 3 訓練場所： 札幌第1合同庁舎4階 北海道開発局災害対策本部室 ほか
- 4 訓練方式： シナリオ提示型訓練、4開建による実働訓練
被災シナリオや対応計画を事前に参加者に周知し、訓練を実施。
参加者が事前に訓練シナリオ（役割・セリフ・行動等）を検討し、訓練当日は、訓練シナリオに従って進行する訓練。
- 5 訓練概要： 別紙
- 6 取 材： 訓練当日は会場（札幌第1合同庁舎4階 北海道開発局災害対策本部室）でカメラ撮影が可能です。
取材をご希望の方は、10月29日（金）15：00までに下記問合せ先へ事前に申し込み願います。
なお、取材に当たっては、マスクの着用、咳エチケット、手指の消毒等、新型コロナウイルス感染拡大防止対策にご協力をお願いいたします。

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 電話（代表）011-709-2311

事業振興部 防災課 地震津波対策官 窪田 悟（内線 5953）

事業振興部 防災課 防災専門官 福羽 一世（内線 5449）



北海道開発局ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/>

令和3年度 北海道開発局 総合防災訓練 実施要領

1. 目的

日本海溝・千島海溝沿い巨大地震・津波を想定した総合防災訓練を実施し、『日本海溝・千島海溝沿い超巨大地震 災害初動対応マニュアル [暫定版]』（以下、初動マニュアルという。）への理解を深め、各自の役割を明確に認識させるとともに、訓練結果に基づき、初動マニュアルの改善すべき点を明らかにして、必要に応じて改訂を行い、以て、対応力の向上を図る。

また、防災関係機関等の参加のもとに、災害時において各機関が連携により、迅速かつ的確に対応できる体制の確立と防災意識の高揚を図る。

2. 訓練ポイント

- ①R2年度に作成した初動マニュアルを用いたシナリオ提示型訓練を実施
- ②地方自治体等の参加による映像配信・情報伝達
- ③職員派遣体制の検証
- ④太平洋側被災4開建（函館、室蘭、帯広、釧路）による以下の実働訓練を実施

- ・函館①自治体首長とのホットライン通信。
→被災自治体（北斗市）との迅速な通信確保。
②直轄ドローン撮影班によるドローン映像の災対本部及び市町村へのリアルタイム配信。
→ドローン等の機器操作習熟、市町村との連携強化。
- ・室蘭①代替庁舎の室蘭プリンスホテルに室蘭開建災対本部を設置。
→本部設置の迅速化、情報通信機器の操作習熟。
- ・帯広①直轄ドローン撮影班によるドローン映像の災対本部へのリアルタイム配信。
→ドローン、Ku-SAT等の機器操作習熟。
- ・釧路①道路啓開計画（案）に基づく、釧路建設業協会との情報伝達。
→情報伝達ルートや協定業者の対応事項など道路啓開計画（案）の検証。

3. 訓練日時

令和3年11月1日（月） 13:30～16:00 ※一部実動訓練は9:00開始

4. 訓練スケジュール

時刻	想定時刻 (発災0h 後)	訓練項目	訓練概要	備考
13:30		訓練概要説明		取材可能
13:40	1h後	災害対策本部会議(第1回)	・本局各班からの状況報告	取材可能
14:00	6h後	災害対策本部会議(第2回)	・本局各班、各開発建設部からの状況報告	取材可能
14:30	26h後	災害対策本部会議(第4回)	・本局各班、各開発建設部からの状況報告 ・ホットライン通信訓練 ・ドローン映像配信訓練	取材可能
15:15	50h後	災害対策本部会議(第6回)	・本局各班、各開発建設部からの状況報告	取材可能

※災害対策本部会議(第3回)、(第5回)は省略

5. 訓練参加者

本局、各開発建設部、地方自治体、防災関係機関等

6. 会場

札幌第一合同庁舎、各開発建設部庁舎、室蘭プリンスホテルなど

7. 想定災害

日本海溝・千島海溝沿い巨大地震・津波（津波浸水はR3.7.19公表版で想定）